



ガウンガウン祭 旧暦2月2日に近い日曜日 鹿児島県いちき串木野市 撮影 昭和57年2月21日 須藤 功

Gaungaun Festival The Sunday closest to February 2nd in the lunar calendar
Ichikikushikino city, Kagoshima Pref. photo by Isao SUTO taken on February 21, 1982

Contents

Gaungaun Festival	Ichikikushikino city, Kagoshima Pref.	Isao SUTO	1
Okonai(deed) in the Kohoku region(Shiga Pref.)		Isao SUTO	2
About the "Taasobi" (rice planting ritual) event No.3, Focusing on Akatuka Suwa Shrine in Itabashi, Tokyo		Michihiro SUZUKI	4
Information and others			6
Festivals in February and March			8

主要記事目次

▽ガウンガウン祭	須藤 功	1
▽湖北のおこない	須藤 功	2
▽「田遊び」行事について(3)		
―「板橋の田遊び」赤塚諏訪神社―を中心に―		
▽会員へのお知らせ	鈴木通大	4
□「第五十五回東海民俗研究発表大会」発表者の募集		6
□「二〇二五年 祭り見学会開催の予告		6
▽各種情報		6
▽受贈資料紹介		6
▽2月のまつり、3月のまつり		8

表紙写真の言葉

ガウンガウン祭

鹿児島県いちき串木野市
鹿兒島県で「打植祭」と総称する稲作の郷土芸能は、集落それぞれに呼称があつて、川内市高江の南方神社では「太郎太郎祭」、同市水引町の射勝神社では「次郎次郎踊り」という。

いちき串木野市の深田神社では「ガウンガウン祭」といって、旧暦二月二日(現在は近い日曜日)に行なわれる。子どもたちが境内の一面を手作りの鉤で起こすと、そこにテチヨ(親父)が来て、大きな手作りの鉤で田打をする。

このテチヨを転ばすと豊作になるといわれ、子どもたちは鉤を足に掛けて引き転ばす。「ワッ」といって転がると、見ている人が豊作になると歓声を上げる。

しばらくすると大きな牛面を着けた牛が、鼻取りと尻取りの二人のテチヨに守られて現れて代掻きが始める。もたもたと歩き、時々見ている人におどけて笑わせる。打植祭を含む田楽、田遊びの郷土芸能の代掻きには馬も出ないわけではないが、牛が多い。代掻きの古風を伝承している。太郎太郎祭や次郎次郎踊りの牛も面白い動きをする。

(須藤 功)